

児童デイサービス月のひかり

令和4年度放課後デイサービス評価表等集計結果の公表について

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「児童デイサービス月のひかり」において「事業者向け自己評価表」並びに「保護者等向け評価表」による評価を実施いたしましたのでその集計結果について公表いたします。評価結果を踏まえ、今後も皆様にご満足いただけるサービスの提供に努めて参ります。

また、今年も月のひかりとして独自にアンケートを行いました。進路や地域サービスについて、今後の勉強会等で取り上げるテーマなどたくさんのご意見を頂きました。これについての回答や対応は、利用者の方々へ直接文書で回答し、HP上でもお伝えしていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

月のひかりでは、今回のアンケートに限らず、ご意見ご要望がありましたら、いつでも気軽にお寄せ頂ければ幸いです。

アンケートにご協力頂いた保護者の皆様ありがとうございました。

令和5年3月
児童デイサービス月のひかり
所長 村上実

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 2月 13日

事業所名 児童デイサービス月のひかり

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	92%	8%	・曜日によっては、過敏なお子さんへの環境配慮に苦慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	・基準を上回る配置はしていますが、個別対応のお子さんが多く人員不足を感じています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%	25%	・二階建てで、段差階段があります。危険な場所では見守りをしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	92%	8%	・毎日、支援や業務の振り返りを実施しています。緊急の課題はパート職員も参加し全体で検討する会議を適宜に開催しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・事業所独自のアンケートを実施し具体的な要望等を反映できる機会をつくっていきます。また、地域の課題を整理し協議会等に提言していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・利用者全員に配布し、法人HPで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	・第三者評価未実施なので、法人として現在検討中ですが、苦情解決の第三者委員へ保護者さんからの評価結果やアンケート、苦情等を報告しご意見を頂いています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・オンライン会議が増えて参加しやすくなり研修の機会が増えました。 ・「虐待防止研修」を2回実施しました。 ・強度行動障害支援者養成は基礎実践修了者が全員です。 ・独自に支援力向上関連の研修を通年で実施しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・支援計画の質を上げるために、アセスメントの更新には力を入れています。 ・最新の情報を把握し支援に活かしていきます。ご家族のご協力をお願いします。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・アセスメント質を上げるためにも、必要に応じて内容を見直していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・お子さんの特性に合わせてできるだけ、個別に検討しています。 ・長期休みのプログラムは体験を重視して立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	92%	8%	・今年度は個別課題の種類を増やし提供するお子さんも増やしています。活動スケジュールにも反映していきます。コパル等公共施設の利用を増やしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・長期休暇のプログラムは、年間計画及び担当制をとり詳細を検討し立案しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・お子さんの特性に合わせた活動を検討し、計画に反映しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・必ず実施しています。また、個別の最近の状況も確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・帰り送迎後に必ず当日の振り返りを行っています。また、当日にあったヒヤリハットも合わせて確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・お子さんに合わせて適宜に実施していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	8%	・創作活動は、法人のららのスタッフと協同で取り組んでいます。また、発表の場も多く設け、地域との交流にもなっています。 ・学校や家庭で体験できない事を提供できるように支援しています。
	20	子どもの意思を尊重した支援をしているか	92%	8%	・自身の意思をはっきり持つために、体験を通じて意思形成する段階の支援を丁寧に行っていますが、子どもさんの要求に対し対応できない時もあります。
	21	社会的養護の必要な子どもに対し適切な支援を行っているか。(要支援児童等の支援)	100%	0%	・関係機関と連携しながら、お子さんと家族の支援を丁寧に行っています。
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・事業所で必要を感じた時は、相談事業所へ開催の依頼をしています。
	23	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・共通課題は積極的に情報交換しています。 ・今年度は学校との教育相談を積極的に行っています。
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%	・現在、対象児がいません。
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	・ご家族や相談からの聞き取りのみになってはいますが、必要であればご家族了解の上共有していきます。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	・今年度も学校主催移行会議に参加しています。積極的にお子さんの情報を進路先の事業所等に伝達していきます。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	・主催の研修会には積極的に参加しています。 ・残念ですがセンターの発信情報が少ないと感じています。
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	・コロナ禍で、積極的には働きかけていません。 ・ガイドライン等でも求められていますが、児童クラブや児童館の所管する部署も含め、放課後デイとの連携を周知されていないように感じています。 ・コパル等の利用を通じて、地域のお子さんとの触れ合いが多く生まれています。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	・協議会を活用するようにしています。 ・児童発達部会へ積極的に参加します。 ・有益な研修があれば、協議会等へ情報提供しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・事業所の目標として、家族支援を大きな柱としています。ご家族の安定はお子さんの成長に大きく影響を与えるので丁寧に行っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	58%	42%	・トレーニングとしては実施していませんが、支援技術や地域の情勢を理解できるような情報提供をしています。
保護者への説明責	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・丁寧に内容をお聞きし、できる限り解決に向けて助言を行っています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・現在も実施できていませんが、状況をみながら早期に勉強会や懇親会を企画実施していきます。

任等	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 意見や苦情を言しやすい関係性を作っていきます。 苦情の背景を考察し早期に改善できるようにしていきます。
保護者への説明責任等	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 月一回のデイだよりの発行 長期休みの時の活動予定配布 活動内容等に関するアンケートの実施 を行っています。
	37	個人情報に十分注意している	92%	8%	<ul style="list-style-type: none"> 領収書や連絡帳の入れ違い等が数件あり、大変ご迷惑をおかけしました。取り扱いに際し十分に注意していきます。
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 個別の特性に配慮したコミュニケーションツールを使用しています。 営業時間外でも、電話やメールでの問い合わせ等を受けています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> いきいき100歳体操の実施、地域の高齢者へ体操の機会と場を提供しています。今年度もコロナ対応で未実施です。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 契約時にお伝えしていますが、定期にお伝えできるようにしていきます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%	<ul style="list-style-type: none"> 訓練時間帯など、多様な状況設定で訓練できるようにしていきます。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止関連の研修を2回実施しました。 職員の行動規範のチェックを定期的実施しています。 日々の振り返りで、不適切な支援がなかったか確認しています。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 原則身体拘束等を行いません。その為に支援の質を向上させます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> 直接指示書に基づく対応ではありませんが、家族からの情報に沿って対応させていただきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットがあった日はその日に原因や予防について話し合っています。 法人のリスク検討会で全事業所の事例を定期的に配布確認しています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 13日

事業所名 児童デイサービス月のひかり

保護者等数(児童数) 60 回収数 45 割合 75 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	91%	7%	0%	2%		・冬期間はコバルや体育館をフル活用していきたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	89%	9%	0%	2%		・今年度で、強度行動障害支援者研修を全員修了しました。 ・内部外部研修等積極的に参加しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	7%	0%	7%		・玄関の段差、二階等の階段があり見守りが必要になってます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	94%	2%	0%	4%		・アセスメントの更新を随時していきたいと思しますので聞き取りの協力をお願いします。
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	82%	11%	0%	7%	・家族では連れていけない場所へ連れていってくれる	・年数回、活動に関して要望アンケートを実施しています。ご意見をお寄せください。
	6 障がいのない子どもと活動する機会があるか	16%	40%	7%	37%	・障がいのない子どもとの活動は求めている。 ・一緒に活動するのは難しい。	・公園や遊戯施設で触れ合う場面が多いです。自然な関係性も生まれているので見守っています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93%	7%	0%	0%		・ご不明な点はいつでもお尋ねください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	91%	7%	0%	2%		・学校の様子を含め、ご家庭との情報共有は常に行っていききたいと思えます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	64%	32%	0%	4%		・計画更新期だけの面談ではなく、いつでも相談の機会をつくっていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20%	47%	13%	20%	・集まるのは難しいが、実現してほしい。	・勉強会や懇親会が開催できずにいます。状況をみながら早期に開催したいと思えます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	68%	16%	0%	16%		・ご意見を頂いた内容は迅速に対応していますがその後の検証について不十分な点もあると思います。再度繰り返し確認していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	84%	14%	0%	2%		・保護者の方へは、連絡帳で不十分な点はお電話等で直接お伝えしたいと思います。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	89%	9%	0%	2%		・取り扱いに注意しながら、できるだけ多くの写真を掲載したいと思います。

	14	個人情報に十分注意しているか	89%	9%	2%	0%		・個人宛の配布物を間違いご迷惑をおかけしました。十分注意をしていきたいと思いま
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	73%	18%	0%	9%		・説明が足りないので、機会を作り説明していきたいと思います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	60%	13%	2%	25%		・訓練が難しいお子さんも参加できるよう工夫しながら訓練を実施していきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	98%	2%	0%	0%	・視覚支援等分かりやすい。	・利用を楽しみにしているという声を大切に、更に喜んでいただけるようなサービスの提供を心がけます。
	18	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	・学校との情報交換等参加してもらえるのはありがたい。	・将来につながる支援を常に考え提供していきたいと思います。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

令和4年度 月のひかり保護者アンケート

●現在、生活全般で不安な面はありますか。

- ・山形はスクールバスがないので、送迎が出来なくなった時どうすればいいか。
- ・入学できる高校があるか。
- ・身辺自立をもう少ししてほしい。(入浴、排せつの後始末等)
- ・加害を受けた時の表現や、どう自身の感情を表現していいか分からない。
- ・時間の管理ができない。文字の理解や、お金の概念を身に付けてほしい。
- ・親なきあとの不安(同意見多数)
- ・家族が病気になったとき。
- ・加害、暴言など、感情のコントロールができない。
- ・持病のコントロールを自身ですていけるか。
- ・家事などもできるようになってほしい。
- ・実年齢と精神年齢の格差で付き合い方が難しい。
- ・睡眠が安定しなく困っている。
- ・排泄の自立 一人でできるようになってほしい。
- ・偏食が多い。
- ・トイレを怖がること。

●現在、地域のサービス資源についてこんなサービスがあればいいと思っている事がありますか。

- ・移動支援(学校送迎や生活介護事業所への送迎等)(同意見 3件)
- ・選択できる事業所が増えてほしい。(音楽教室等)
- ・大人の事業所の利用時間の延長があるといい。(18時位まで)
- ・高齢者等の触れ合いができる場所。(同意見 2件)
- ・就労系(B型)が増えてほしい。
- ・伝統産業を取り入れた就労系事業所があればいい。
- ・休日等に利用できるサービスがほしい。(同意見 2件)
- ・ショートステイが利用できる事業所が増えてほしい。(同意見 5件)
- ・余暇支援を提供してくれる機会がほしい。

●お子さんの将来像を、現時点でどのようにお考えですか。(生活介護、就労系、入所、グループホームなど) そう考える理由は何ですか。

- ・進路先の形態の違いが分からない。入所施設とグループホームの違いが分からない
- ・就労して所得を得てほしい。自分らしく働ける場所。(同意見 15件)

- ・結婚してほしい。
- ・生活介護。多くの支援が必要なため。(同意見 10 件)
- ・グループホーム (同意見 10 件) 親なき後もグループホームで生活してほしい。
- ・入所施設 (同意見 2 件)
- ・できるだけ住み慣れた自宅等で過ごしてほしい。
- ・本人が遣り甲斐のある場を選択したい。
- ・家で介護できなくなると入所施設を考えている。
- ・子どもの事を理解してくれる施設ずっとお願いしたい (同意見 2 件)
- ・感覚過敏な子どもに配慮してもらえる事業所を利用したい。
- ・30 代位からグループホーム等を利用したい。(同意見 2 件)
- ・自活が可能であれば、それに向けた進学やサービスを考えたい。

●**職員の支援について、感じている事があれば具体的にお聞かせください。**

- ・芸工大、専門学校等の学生さんと接する機会がほしい。
- ・宿題を他の子と一緒にやってほしい。
- ・身辺自立の支援を期待したい。
- ・家庭への送迎だけでなく、親の職場への送迎も検討してほしい。
- ・色々手伝わせてほしい。
- ・送迎時に詳しく活動の様子を知りたい。

●**今後、月のひかりの勉強会等で取り上げてほしいテーマや内容があればお聞かせください。**

- ・今後の放課後デイサービスの在り方。
- ・大人のサービス手続きなど。
- ・思春期の対応について (同意見 2 件)
- ・卒業後の進路について (同意見 2 件)
- ・発達障がいについて
- ・障害基礎年金について、お金について、今後かかる経費等含む (同意見 2)
- ・実際の就労状況を知りたい (職種とか)
- ・卒業生の先輩の親御さんの話をお聞きしたい。(進路の時の悩み今の生活状況など)
- ・親なき後の生活はどのようにしているか実例を聞きたい。
- ・入所、グループホームや生活介護事業所を見学したい。
- ・子どもの成長の過程について。
- ・入所施設ではなく社会と関わって生きてほしい。安心できる情報を知りたい。